

## 平成30年度一学期始業式式辞

3月末から4月にかけて長くはない春休みでしたが、この春休みの間も吹奏楽や演劇、神楽を始め、学校で部活動の練習に頑張っている生徒がたくさんいましたし、全国大会や県の大会に出場し、精一杯戦った結果、悔しい思いをした生徒もいると思います。

4月が始まってわずか一週間ですが、各部の活動を中心にすでに新年度の活動が始まっていることを感じます。

さて、いよいよ今日から2、3年生が登校し、今年度の平成30年度が始まりました。明日は1年生が入学してきます。学校にとって新年度が始まる今日が1年の始まり、元旦となります。

1年がスタートするに当たり、ぜひ皆さんに心がけてほしいことをお願いします。

それは、自分は今年1年これに頑張っていくという目標をしっかりと定めてほしいということです。目標があればこそ、その実現に向けて苦手なことや辛いことにも頑張って取り組んでいくことができます。逆に、めざす目標がなくては、毎日の高校生活を漫然と、無駄に過ごすことになりかねません。

「1年の計は元旦にあり」という言葉がありますが、1年が始まる今日、この日にこれから1年間、自分が頑張っていく、めざす目標を立てて、自らのやる気を奮い起こしてほしい。

少々辛いことやいやなことがあっても、今年はこれに向けて頑張るという心構えと覚悟をもってほしい。それが「挑戦」するということです。自分の夢やめざすものに向けてチャレンジして下さい。

「スタートダッシュ」という言葉があります。今年、大リーグに挑戦したエンゼルス大谷翔平は投手としてスタメン初勝利、打者として二試合連続ホームランの投打にわたって素晴らしいスタートダッシュをしました。高い志をもち、自分の夢に向けて挑戦する中での快挙です。我々には想像もできないことですが、大谷選手に夢をもらい、その姿を見習い、あこがれることができます。

3年生は、いよいよ高校生活の集大成の年になります。就職する生徒は、この5ヶ月余りで自分の就業先を決めなければなりません。進学をめざす生徒は、9月、10月から大学のAO入試や推薦入試が始まります。センター試験まで10ヶ月を切りました。

3年は進路実現に向けて待たなし時期を迎えました。「1年の計」のけいの字は計画の計です。自分のめざす目標の達成に向けて何をどう実行していくのか、具体的な計画を立てて、今日からいいスタートを切って下さい。

2年生は、学校生活の中心学年になります。授業だけでなく部活動や生徒会活動で1年をリードし、3年をサポートしてこの学校を盛り上げて下さい。

そのことをお願いして1年の始まり、始業式の式辞とします。

平成30年4月9日

大分県立三重総合高等学校

校長 中野 弘幸